

2023-24 年度RI 会長 ゴードンR マッキナリー (スコットランド・サウス・クイーンズフェリー・RC) 第2820地区ガバナー大久保博之 (水戸RC)

国際ロータリー 第2820地区(茨城) 第1分区 日立港ロータリークラブ週報



世界に希望を生み出そう



2024. 5. 23
第 2099 回例会

会長 鈴木崇久 会長外 島田洋次 幹事 照沼明美

- 事務局 日立市大みか町 2-28-5 渚会館 TEL 0294-53-6411
- 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
- 例会場 美かの 日立市大みか町 6-14-12



6月はロータリー親睦活動月間

会長挨拶 鈴木崇久 会長



皆様、こんにちは。5月18日(土)の職場見学会に参加された会員の皆様お疲れ様でした。当日は、皆様の日ごろの行いが大変良く、雲一つない晴天に恵まれ快適なバス旅行でした。

私は、何時もなら運転席で前方だけを注視しているのですが、今回は古川会員と一緒に最後尾の席で朝からビールを飲み、ここぞとばかりに前後左右をキョロキョロしながら、新しく作っている道路、遠い山に残る残雪、藤の花や桐の花を眺め、美味しい料理に舌鼓を打ち、あっという間の一日でした。おかげで疲労がたまっていた身体もリフレッシュできて、今週には5月分の仕事も無事に終わりました。

この旅行の企画を担当してくれた桑名会員、宮田会員有難うございました。

例会報告

開会点鐘 鈴木崇久 会長
R ソング 「我等の生業」

本日のビジター紹介 宮田秀昇 親睦活動委員長

本日はいらっしゃいません。

出席報告 五来美奈 SAA

会員数	出席数	出席率
33	21	72.41%
出席免除者数	前回訂正	合計出席率
5(本日1名出席)	8	100.0%

本日の食事メニュー：カツ鍋

委員会報告

【奉仕プロジェクト委員会 山口憲生委員長】

5月18日(土)の職場見学会は17名参加で楽しく過ごすことができましたと桑名職業奉仕委員長からの伝言です。参加費についてはクラブからバス代等の補助もありますので、8,000円程になると思います。

本日のプログラム



菅原光雄次期幹事

「My Rotary 登録方法」説明

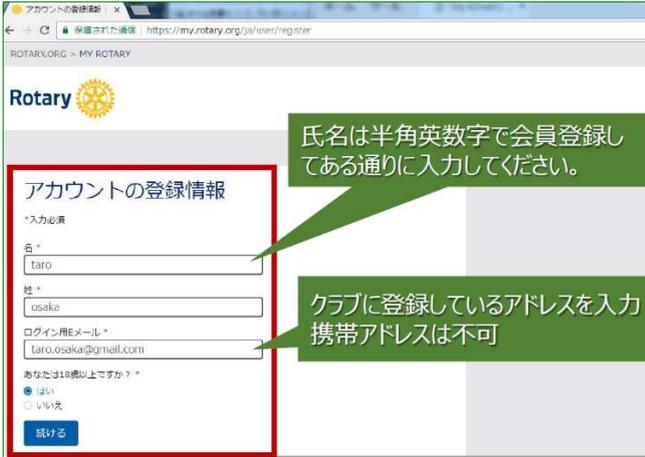
My Rotary アカウント登録手順①



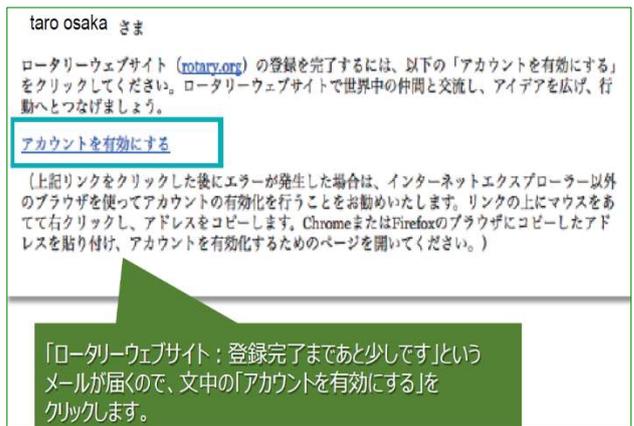
My Rotary アカウント登録手順②



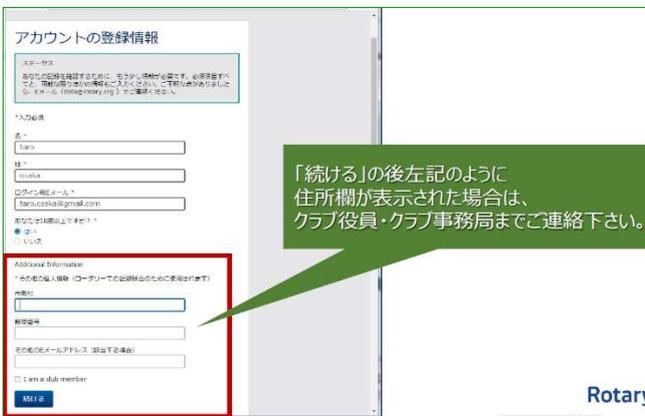
My Rotary アカウント登録手順③



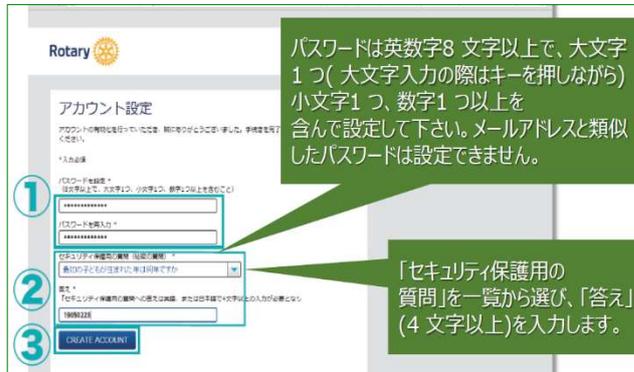
My Rotary アカウント登録手順⑦



My Rotary アカウント登録手順④



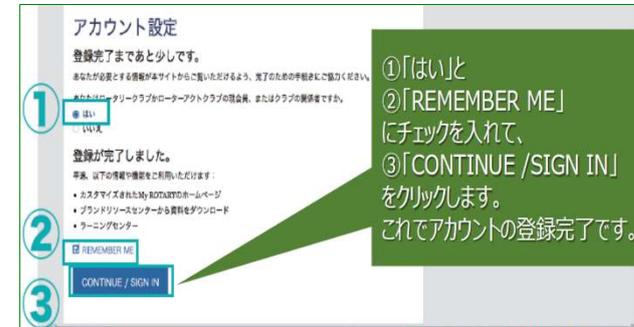
My Rotary アカウント登録手順⑧



My Rotary アカウント登録手順⑤



My Rotary アカウント登録手順⑨



会員卓話 **白戸孝典さん**
『ふるさと紹介&津軽弁考察(?)』

My Rotary アカウント登録手順⑥



ふるさと紹介

故郷の青森県です。ご承知の通り、本州最北で三方を海に囲まれた独特の形をしています。





早速ついでの雑情報ですみませんが、青森県が全国 1 位または最下位というランキングをちょっと紹介し、そのまたついでに、茨城県とのベンチマーク (?) もしてみました。

こちらのページは「食べ物」にまつわるデータ編です。

ついでに。青森県がランキング 1 位 or 最下位の情報と茨城県とベンチマーク

◆食べるもの編		
項目	茨城県	青森県
りんご生産量	17位	1位
炭酸飲料消費量	13位	1位
インスタントラーメン消費量	41位	1位
イカ消費量	20位	1位
食塩消費量	26位	1位
メロン消費量	1位	4位

続いて、社会や自然にまつわるデータ編です。

ゴルフ人口が両県で好対照になっているのが特徴的でした。

◆社会・自然編		
項目	茨城県	青森県
戦後幕内力士出身者数	18位	1位
年間降雪量	23位	1位
25歳以上ゴルフ人口(対人口割合)	1位	47位
携帯電話普及率	20位	47位
女性平均寿命	45位	47位
男性平均寿命	34位	47位
ケーズデンキ店舗数	1位	8位
在日タイ人(対人口割合)	1位	42位
地震回数	1位	10位

出生地、西目屋村について

続いて、もうちょっと郷里の紹介をさせていただきます。最初の資料でご紹介の青森県の中で、私の出生地の西目屋村はこのオレンジの場所に位置しています。下の余白は隣接する秋田県の領域です。



村の概要:

青森県西目屋村は弘前市から車で約 30 分、白神山地を有する村として自然と共生する地域づく

りが進められています。「津軽富士」岩木山の南麓に位置し、リンゴの里としても知られています。白神山地の大部分は世界遺産核心地域(コア・エリア)にあたるため入山が制限されていますが、西目屋村には 1981 年に県立自然公園に指定された暗門の滝を中心に、誰でも気軽に世界遺産に触れることのできる緩衝地帯(バッファー・ゾーン)が広がっています。

豊富な湯量を誇る 3 つの天然温泉に加え、ホテルからキャンプ場、コンドミニアム・スタイルまで、さまざまな利用状況に対応した宿泊施設が揃っているため、白神山地探勝のレジャー基地として最適です。また、四季の移り変わりに合わせて、フィッシングやカヌー、山菜・キノコ狩りといった多彩なアウトドアライフを満喫できる環境が整っています。ぜひ、豊かな自然とあたたかい人とのふれあいを体感してください!

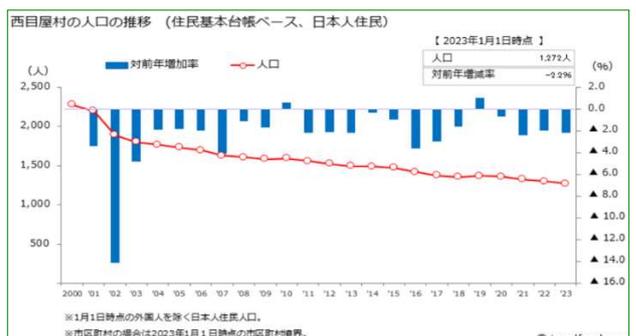
これは今現在の西目屋村市役所ホームページから拝借してきた情報です。小さい頃もそうでしたが、ただいま現在も緑に囲まれた「The 田舎」のままです。**地勢**:津軽の主要都市、弘前市より西に岩木川とともにさかのぼること 16 キロメートル、東西に袋谷をなした別天地あり。村の総面積は 246.02 平方キロメートルでそのうち、93%が林野であり、林野面積の 91%が国有林によって占められています。こちらに書かれている通り、山林に囲まれた地域です。人口はこちらの通りでして全国の村の人口順位もこの数値になっているそうです。

人口調査:

項目	平成7年 (1995年)	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	令和2年 (2020年)
総人数	2,138	2,049	1,597	1,594	1,415	1,265
男	1,069	979	957	824	706	589
女	1,119	1,070	840	770	709	676

全国 135位 / 183村

参考まで、20 年前からの人口増減率です。



目屋ダムについて @両親が働いていました

さて、私がなぜここで生まれたかと言いますと、両親がこの村にあったダムに勤めていたことがご縁でした。ちょっとだけこの「目屋ダム」を紹介させていただきます。

岩木川は、青森県と秋田県の両県境を源とし、津軽平野を南北に貫流する、延長 101.6 km、流域面積 2,54 km²の一級河川です。本川は大正 5 年 10 月 1 日、河川法施行河川に編入され、大正 7 年より国の直轄事業で河川の改修工事を行ってきましたが、昭和 10 年の大出水により甚大な被害を受けたため、洪水調節用のダムの建設が必要となり、目屋ダムが計画されました。

目屋ダムは昭和 28 年 8 月に建設省直轄事業として着手され、総工費 23 億円をかけて昭和 35 年 3 月に完成しました。昭和 35 年 4 月よりダム管理が青森県に移管され、その後約 55 年にわたり岩木川沿川の洪水被害の軽減、かんがい用水の補給及び発電に貢献してきました。津軽ダムの建設に伴い、平成 27 年 9 月末日をもってその役割を終えました。また、これに伴い目屋ダム管理所も廃止されました。

昭和 39 年；両親結婚親
40 年；兄誕生
41 年；私誕生
44 年；父転勤で青森市へ引っ越し

こちら航空写真でのダムとダム湖、その周辺の様子です。私はこの左下辺りの所謂「官舎」に住んでいました。社会インフラは電気と水はありました。



ダムを正面から見るとこうなります。残念ながら 2015 年に新しいダムができてこの姿は、その新しいダムのダム湖に埋没していても見ることはできません。



ちなみにこれが現在の「津軽ダム」です。

津軽ダムは、目屋ダムの約 60m 下流に建設されたコンクリートダムで、既設ダムとの距離がこれほど近い再開発ダムは、全国的にも珍しい例です。

津軽富士「岩木山」 標高 1625 メートル

もう一つだけ西目屋村の光景を紹介しておきます。こちら「岩木山」です。ただ、この山は隣町である「岩木町」に所在しています。



こちらは、冬の景色です。ブナの里白神館から眺めた、朝焼けに染まる幻想的な岩木山



津軽弁考察？

さて、それでは、郷里の言葉である「津軽弁」についてちょっとだけ解説します。

とは言え、私自身、文化論や言語論は学んでないので全て受け売りですのご容赦下さい。



こちらにある通り、津軽弁は県の西側エリア一帯の「津軽地方」で使われます。

特徴
 青森県全域で話されるわけではなく、**八戸市を中心とする南部地方と上北地方は南部弁、下北半島はどちらの特徴も持つ下北弁**となる。
 江戸時代まで津軽藩と南部藩が対立し、関門が存在していたという歴史上の経緯に伴う。事実、平内町狩場沢(津軽藩の領地)と野辺地町馬門(南部藩の領地)は隣接しているにもかかわらず、住民の使う方言がくっきりと切り替わっている。
 そのため、青森県内であっても方言が通じない、といったことがたびたびある。

こういう「アクセント」が特徴です。例を発声してみます。

南部弁および下北弁との**最大の違いはアクセント**である。
津軽弁は「低→高」の形でアクセントが置かれ、ある位置からアクセントがつき、そのまま高い状態で発音される、という特徴がある。
南部弁は地域によるが「高→低」の関東方言に近い。
 例:「雨」→津軽弁「あ↓め↑」、標準語「あ↑め↓」
 「飴」→津軽弁「あ↓め↓っこ↑」標準語「あ-め-」

更にこういう特殊な特徴もあります。こちらも発声してみます。

非常に強い訛りと独特な言い回しが多く、難解なことで全国的に有名。
1音で1語になっている会話も多々あり、**一種の高速言語**
 例1: ☺ 「ど」さ↑?」(どこ行くの?)
 !(^)! 「ゆ」さ↑。」(銭湯に)
 例2: ☺ 「か↑、け↑」(ほら食べな)
 (;▽;) 「は↑、い(え)↑」
 (「もう沢山、これ以上いらない」)

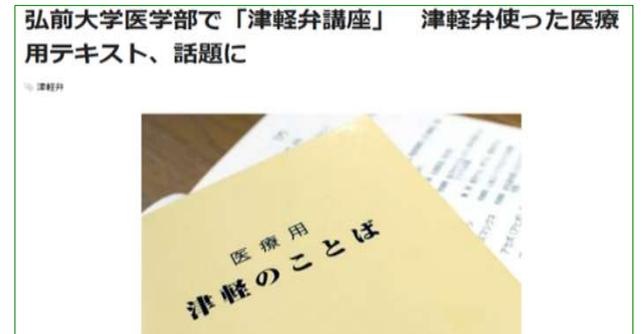


更にはこういうエピソード実話があったりします。

他地域への対応
 ・あまりに難解なため、他県出身の医師による**誤診を防ぐ目的で弘前大学医学部では方言を学ぶ授業があり、「医療用津軽のことば」というマニュアル**が同大学の非常勤講師により作られた。
 ・さらに2020年には「津軽弁をAIで共通語に翻訳する」プロジェクトが同大学で進められていることも明かされている。

・県外、特に全国放送のテレビ番組などでは「○♪☆×\$€+▲~」のような、まるで宇宙人が話しているような字幕で表現されることがある。

私は実物を読んだことも見たこともないのですが、こういう本だそうです。



これが生まれた背景が紹介されていました。
 同テキストは「地域医療学講座」という授業で使われる参考資料。津軽弁を習得するための教科書ではないため、授業には使われず、生徒たちの今後の研修や実習などで地元の患者とコミュニケーションする際の参考になればと、非常勤講師の石戸谷忻一さんが1997年に作成した。加筆などを経て、現在では約400語を収録。全26ページにわたって津軽弁を翻訳している。

「け」といった1つの単語には3つの意味があり、「アグド」(踵部)や「アゲタ」(上あご)といった少しの言い回しでまったく別の意味になる津軽弁を紹介する。医学部長の中路重之さんは「臨床にはコミュニケーションはもちろん、言葉の理解は大事」と話す。「その意図がなくても患者さんに失礼なことを言ってしまうケースもあった」とも。

折角なので、他に身体部位を表す津軽弁をいくつか紹介します。

身体部位の津軽弁		
津軽弁	標準語	用法・例文
じゃんぼ	髪の毛	「じゃんぼ、のびでまって。」
なんずぎ	おでこ	「なんずぎ、出してみろ」
まなぐ	目、目玉	「まなぐ、かい〜じゃ(痒い)」
ぼんのご	うなじ・後頭部	「ぼんのご(おどげ)、いでくてよ(痛くてさ)」
おんどげ	あご	
じゃま	背丈・伸長	「じゃま、でっけくなつたな〜」
へなが	背中	「へなが、かいでけ(掻いて)」
どんず	お尻	「どんずさ、注射っしてもらえ」
あぐど	踵	「あぐど、ぶつけでまって」

日常での発言、用法例
 では、最後に、日常会話で使われることが多い例文と用法をご紹介します。

先ずはこれ。



訳：わっ！びっくりした！

「わい」や「わいは」というのは「うあっ!」「まあ!」などびっくりした時に使う言葉です。また、「どんだが」や「どんだんず」というのは、「どうなってるの」「なんでこった」のようなニュアンスで、両方驚いた時などに使う言葉となります。



訳：それじゃだめだよ

「せばだば」は「それじゃあ」という意味で、津軽弁の色々なシーンで使われる言葉です。例えば「せばだば。〇〇に行こう」というようにも使います。「まいね」は「ダメ」という意味で、「びよん」は「だよね」という意味です。最後に濁点が多いのも津軽弁の特徴です。



訳：そんなに携帯いじって何が面白いの

こちらはお母さんが携帯をずっと触っている子どもに言う、日常的によくありそうなフレーズです。津軽弁では「ちよす」が「触る」、「いじる」という意味となります。「それちよせばまね」だと「それを触ったらダメよ」というような意味になります。



訳：イライラする～!

津軽の人が「かちゃくちやねえ!」とつぶやいていたらイライラしている時です。「かちゃくちや」は「散らかっている」という意味で、「かちゃくちやない」、「かちゃくちやねえ」は、頭の中がごちゃごちゃする。散らかっているというところから転じて「イライラする」というニュアンスの言葉になります。

役に立たないお話にお付き合い頂き、ありがとうございました。

へば、まんだのお～↑

では、またお会いしましょう
ご清聴ありがとうございました。

閉会点鐘 鈴木崇久 会長



今週の会場の花

“孔雀草” 花言葉：いつも愉快

職場見学会報告

桑名智行職業奉仕委員長

5月18日(土)、日帰りで職場見学会を実施しました。鈴木会長をはじめ会員13名、ご家族・知人と事務局の中野さんにもご協力をいただき、総勢17名の参加の下、7時30分に大甕駅前(旧常陽銀行大みか支店)を出発し、福島県南会津を目指しました。

初夏を思わせるほどの気温と雲一つない快晴で、磐梯山、猪苗代湖、飯豊山を望みながら最初の予定地の大内宿に到着。江戸時代に会津若松市と日光今市市を結ぶ重要な道の宿として栄え、現在も江戸時代の面影そのままに茅葺屋根の民家が街道沿いに立ち並び、景観を引き継ぐために店舗兼住居として生活しており、1981年(昭和56年)には国選定需要伝統的建造物群保存地区に指定されています。当日は、地元小学校の運動会が開催されている影響で、開店している店舗がいつもより

も少なく感じましたが、多くの方が山に登り、宿の眺望を楽しみました。昼食を待てない一部の会員は名物であるまるごと一本のねぎを箸代わりにして食べる「ねぎそば」を堪能していました。

その後、昼食場所である会津一の海産物問屋として隆盛を極めた姿を残す「渋川問屋」では、大正ロマンを感じさせられる建物、調度品、中庭を観ながら、棒タラ煮、ニシンの山椒漬・昆布巻き、会津牛、紅鮭のてまり寿司、冠婚葬祭やお正月で振舞われる「こづゆ」等の郷土料理 12 品と地酒を堪能しました。

続いて、天守閣の長寿命化工事を経て 2023 年 4 月にリニューアルオープンした鶴ヶ城を見学しました。2011 年に幕末当時の赤瓦にふき替えられた雄姿を望み、天守閣からの眺望を楽しみました。

最後に、研修の目的である、末廣酒造「嘉永蔵」を見学しました。サンダルに履き替えレクチャースペースで女将?の説明に聞き入り、酒ぶね(絞り機)を横目にクラシックカメラ博物館を通り、米の蒸し釜、麴室(模型)、発酵タンク等を見学した後、お土産を購入して職場見学会を終了しました。

参加された皆様のご協力により、懇親を深めながら、楽しく一日を過ごすことができました。改めて御礼申し上げます。



その他のお知らせ・連絡事項

★★ 行事の申込受付案内 ★★

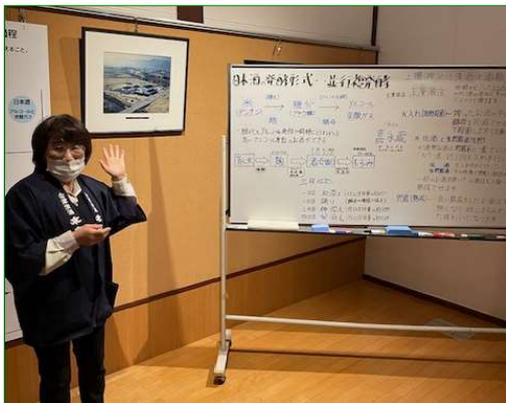
◆ 最終例会親睦ゴルフコンペ

6月27日(木) グランドスラムカントリークラブ

今後のスケジュールのご案内

6月13日(木)例会 12:30~ 美かの
「第9回クラブ協議会 委員会活動実績報告Ⅰ」
「卓話 Willaさん」

6月20日(木)例会 12:30~ 美かの
「第10回クラブ協議会 委員会活動実績報告Ⅱ」



サロン美かの

日高町に居住して22年、3回目の自治会委員が回ってきた。当初は12家庭あったが現在は10家庭となった。ここにも高齢化の「さざ波」が押し寄せている気がする。

日立市では、年々自治会に加入している家庭が減っており、自治会への補助の原資となる資源ごみの回収量も減っているという。町にあるスーパーなどで資源ごみを回収して久しいが、これも減少の要因ではないか。我が家は少しでも自治会費の補助になればとペットボトル、缶、瓶類は纏めて資源ごみに出している。

人口減少が続く日立市は民間組織である「人口戦略会議」により2020~2050年の間に子どもを産む中心世帯となる20~30代の若年女性が50%以下となる「消滅可能性自治体」として4月24日に公表された。昔は子供会や町内会で旅行、懇親会などのイベントがあり、地域の繋がりを深めていたと思う。

古き良き時代の地域コミュニティがこのままでは衰退の道を進むのではないかと一抹の不安をいただいている。(とも)

発行：日立港ロータリークラブ(翌例会日)

編集：会報・雑誌委員会

山口憲生 鋤柄純忠 桑名智行

笹尾 光 中野紀子(事務局)

URL: <http://www.hitachi-ko-rc.com>

E-mail: info@hitachi-ko-rc.com